

第 1 回 杉並区立西宮中学校改築等検討懇談会

会 議 名	第 1 回 杉並区立西宮中学校改築等検討懇談会
日 時	令和 7 年 5 月 1 日（木）午前 10 時 00 分～12 時 22 分
場 所	西宮中学校 多目的室
出席者	<p>< 委員 ></p> <p>学識経験者：柳澤 要、入江 優子 宮前五丁目南地区防災防犯会会長：大熊 和夫 宮前五丁目北地区防災防犯会：浅田 良子 西荻南一、二丁目南部町会：小山 圭子 久我山西自治会：鎌田 あつ子 西宮中学校 P T A 会長：廣田 香乃子 西宮中学校 P T A：坂井 初枝 西宮中学校学校運営協議会会長：岩谷 俊行 西宮中学校学校運営協議会：立入 聖堂、小寺 正芳 西宮中学校学校支援部本部長：大島 和美 西宮中学校学校青少年委員：齋藤 千帆 西宮中学校推薦者：新留 敬子</p> <p>高井戸第二小学校校長：柴田 紀子 西宮中学校校長：立花 忠司 西宮中学校副校長：大金 泰光 高井戸第二小学校 P T A 会長：木村 美樹 高井戸第四小学校 P T A 会長：安田 敬子 松庵小学校 P T A 会長：室津 佳介 久我山小学校 P T A 会長：宮澤 恵里子 ゆうゆう館関係者：桐ヶ谷 仁</p> <p>懇談会委員 22 名（欠席 4 名）</p>
傍 聴 者	<p>< 事務局 ></p> <p>学校整備・支援担当部長：高山 靖 学校整備課長：安川 卓弘 学校整備担当課長：花岡 純子 教育施設計画推進担当係長：岡田 朗 学校支援課長：中曽根 聡 地域施設担当課長：近藤 伸吾 高井戸地域担当課長：櫻井 宏 高齢者施設整備担当課長：海津 康德</p>
傍 聴 者	9 名

次 第	1 開会 2 教育委員会事務局学校整備・支援担当部長挨拶 3 出席者・事務局紹介 4 進行役選任 5 西宮中学校の特色について 6 これまでの経緯について 7 西宮中学校の概要について 8 コミュニティふらっとについて 9 ゆうゆう大宮前館について 10 事務局からの連絡事項
資 料	資料1 杉並区立西宮中学校校舎改築検討懇談会委員名簿 資料2 杉並区立西宮中学校校舎改築検討懇談会運営要綱 資料3 令和7年度学校要覧 資料4 西宮中学校の改築及び (仮称) コミュニティふらっと宮前の整備について 参考資料1 杉並区立学校施設整備計画(第2次改築計画) 参考資料2 杉並区教育ビジョン2022(概要版) 参考資料3 杉並区立神明中学校改築基本設計まとめ 参考資料4 神明中学校校舎改築ニュース(創刊号) 参考資料5 西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する 検討 検討まとめ

教育施設計画 推進担当係長	<p>本日はお忙しい中、西宮中学校改築等検討懇談会にご出席いただきましてありがとうございます。また、懇談会委員を快くお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、杉並区立西宮中学校改築等検討懇談会を開催します。</p> <p>私は教育委員会事務局学校整備課教育施設計画推進担当係長です。どうぞよろしくお願いいたします。進行役を選任させていただくまでの進行を務めさせていただきたいと存じます。</p> <p>さて、本日の懇談会は、2時間程度とさせていただきます。進行につきまして、皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会に先立ちまして、学校整備・支援担当部長からご挨拶申し上げます。</p>
学校整備・支援 担当部長	<p>皆さん、おはようございます。ただいまご紹介いただきました、学校整備・支援担当部長です。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

	<p>本日はお忙しい中、第1回西宮中学校改築等検討懇談会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。この懇談会が始まる前、昨年度はワークショップや地域意見交換会などで、様々取組を進めてきている中で今回に至りました。そうした中で学校関係者の皆様、それから周辺施設の利用者の方を初めとした周辺地域の方々の意見を十分酌む中で、昨年度、この西宮中の改築に当たりましてはコミュニティふらっとを併設するということを区で決めて、今回の第1回懇談会に今臨むという形になっております。</p> <p>これから1年間ほどかけて懇談会を行いますけれども、皆様から様々な意見を頂きながらよりよい中学校、それから一番は子どもたち、生徒を大切にしながら周辺地域との連携、コミュニケーションなどそういったものを大切にしながら今後の学校づくりを進めていければと思っておりますので、どうぞ皆さんご協力のほう、よろしく願いいたします。本日はよろしく願いいたします。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>それでは、事前送付いたしました資料及び本日席にお配りしております資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(配布資料の確認)</p> <p>お手元にごございますでしょうか。</p> <p>懇談会を進めるに当たりまして、お願いがございます。</p> <p>会議は原則公開となります。また、会議資料や会議録も原則公開となり、教育委員会のホームページに後日掲載いたします。会議の記録のため、録音・撮影をさせていただくことをご了承ください。</p> <p>1つ皆様にお諮りしたいのですが、会議録については発言者の氏名を伏せた形で、「委員」や「進行役」などの表記でよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>また、懇談会を傍聴したいとご希望される方がいらっしゃる場合は、基本的に認めることになっておりますので、あらかじめご了承願います。なお、傍聴者は発言ができませんのでご了承願います。本日は事前問合せの段階で、9名の方が傍聴ということでお申込みを頂いております。</p> <p>配付しました資料についてですが、第2回目以降も使用する場合がございますので、大変お手数ですが、次回以降も懇談会にご持参いただくように、お願いいたします。</p> <p>本懇談会の委員名簿は、資料1でお配りしているとおりとなります。本日の出席状況は、3名の方が欠席の連絡を頂いております。</p>

	<p>1名が少し遅れていらっしゃるということと、学識経験者1名はリモートでの参加ということで、後ほどご挨拶いただく予定になっております。</p> <p>本日は第1回目なので、顔合せという意味で、委員の皆さんお一人ずつ簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。</p>
	(委員自己紹介)
教育施設計画 推進担当係長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、事務局職員及び関係課職員をご紹介します。自己紹介ということで一言ずつ挨拶をさせていただきます。</p>
	(事務局自己紹介)
教育施設計画 推進担当係長	<p>その他係長、協議会の職員につきましてはお配りした名簿で代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本懇談会は学校関係の方、町会・自治会、ゆうゆう館関係者、防災会の方、学識経験者等、様々な方面の方から委員としてお集まりいただいております。議事の円滑な進行を担う役割として、どなたかに懇談会の進行役をお願いしたいと思いますが、これまで改築等検討懇談会では校長先生をお願いしていることが多くあります。今回も西宮中学校の校長に進行役を担っていただくということでいかがでしょうか。</p> <p>まずは、校長先生、副校長先生、ご挨拶をお願いいたします。</p>
進行役	<p>皆さん、おはようございます。この4月に区内の高南中学校から参りました。西宮中学校には実は副校長で、今隣にいる副校長の前任で3年間お世話になりました。その際には、地域の皆さんあるいは保護者の皆さんには大変お世話になりました。改築ということで頑張って進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>おはようございます。西宮中学校副校長です。今年で4年目になります。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>それでは、改めまして校長先生に進行役をお願いしたいと思います。が、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(「異議なし」の声あり)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ここから校長先生に進行役をお願いいたします。</p>
進行役	<p>それでは、次第に沿って進行してまいります。なお、会の進行上、質問などは適宜時間を取らせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>

まず、次第の5番「西宮中学校の特色について」、私からご説明をしたいと思います。お手元の資料の中に資料3「令和7年度学校要覧」があるかと思いますが、そちらを見ながら説明をしていきたいと思います。

実は、本日5月1日は西宮中学校の開校記念日でございます。今年度創立65周年を迎えました周年の年でございます。朝、子どもたちにもそのことは担任を通じて伝えていきます。

昭和36年に開校して、当初は高井戸第四小学校に間借りをさせていただいて、現在の校舎ができたのは大体次の年、翌年にできたと聞いています。ですから、古い校舎は築64年たっているということでございます。

「学校要覧」を開けていただきまして、一番上に書いてある「西宮中学校がめざす『自主・自律の教育』」、これが本校の一番の目標となっております。生徒もこの「自主・自律」という言葉をととても誇りに思っており、いろいろなところで取り組んでいます。

本校は標準服がございません。私服の学校でして、子どもたちは自ら着るものを選んだりとかいうことをしております。特にルールから外れているという生徒はおりません。自分で考えて選択をしているということでございます。

また戻っていただいて、表紙のところに3つの写真がございます。本校の三大学校行事「西宮祭」という3つの行事がございます。1つは体育大会。これは今月、5月に開催いたします。それから下にあります10月、音楽会、合唱コンクールで、杉並公会堂で行います。そして右上、3月に行う展示会と。これが本校の三大学校行事「西宮祭」と呼んでいます。全て生徒たちの実行委員が組織されて、子どもたちが自主的に運営をするということで、教員はなるべく手助けに回るというふうに行っております。

また、生徒会活動、委員会活動が非常に活発で、自分たちの力で成し遂げていこうという気持ちを生徒たちは持っています。本校の全生徒は地域のボランティア活動にも積極的に参加をしています。例えば本校の震災救援所訓練に参加する、あるいは地域清掃といった機会がありましたら積極的に参加をしているということでございます。

本校は様々な方にご支援いただいております。まず今日参加していただいている学校運営協議会の皆様、学校支援本部の皆様、またPTAの皆様、多大な協力を頂いております。

	<p>また開いていただいて、「教育目標」はそこに書いてある3つでございます。「徳」「知」「体」という3つのことを掲げています。特に、最初の「心豊かな人」を重視してまいります。思いやりや感謝の心、ルールやマナー、モラルを身につけることを重視してまいりたいと思います。</p> <p>その下の「めざす生徒像」は「徳」「知」「体」に対応した具体的な生徒像ですけれども、その中の真ん中に書いてあります「学力向上の推進」を本校では重視しています。学力は区内でも比較的上位ではありますが、今後も個別最適な学習あるいは協働的な学習を取り入れた探求学習を推進していこうと考えています。学びに向かう力を強固にしていくという方針で進めてまいります。</p> <p>それから右側のところ、少し字が小さいですが、部活動が本校はとても盛んです。運動部、文化部ともに、子どもたちは積極的に参加しております。文武両道の生徒が多いと思います。</p> <p>その下に書いてある学校図書館も活用してまいりたいと思います。情報活用センターとして位置づけて、組織的に活用していくところでございます。</p> <p>また、こちらには書いてありませんが、英語と数学は習熟度別の少人数授業を行っております。</p> <p>最後に環境ですけれども、非常に緑豊かで、校内にはケヤキや桜の樹木がたくさんございます。今65年たちましたけれども、樹木も大分成長しております、そういったすばらしい環境で子どもたちは伸び伸びと活動しているところでございます。</p> <p>雑駁な説明で申し訳ないですが、以上で本校の特色についてお話を終わります。何かございましたら、また後ほどお時間を取りますので聞いていただければと思います。</p> <p>それでは、次の議事に移ります。</p> <p>次第の6番「これまでの経緯について」、事務局から資料の説明をお願いします。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>それでは次第6に沿いまして、「これまでの経緯について」ご説明させていただきます。お手元には資料4をご用意ください。着座にてご説明させていただきます。失礼いたします。</p> <p>2ページを御覧いただけますでしょうか。</p> <p>西宮中学校の改築について、初めに計画されたのは令和3年度になります。その際、近隣の宮前図書館との複合化を視野に検討する計画とさ</p>

れておりまして、その計画に基づき、令和4年度から5年度にかけて「西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会」を実施しながら検討が行われました。そちらにご参加いただいた方がここにも何人もいらっしゃると思いますが、ご説明させていただきます。

この懇談会では主な意見として、「中学校のグラウンドは現在でも運動会や部活動を行う広さとしては十分ではなくて、改築に当たっては現在と同規模またはそれ以上確保してほしい」というご意見や、「区立施設が今後集中的に改築時期を迎える中、施設の効率化や複合化の必要性は理解するが、図書館との複合化だけではなく、周辺の区立施設の再編を含め、地域全体を見渡して検討すべきではないか」というご意見がありました。

また、配置・平面計画の検討を行ったところ、図書館との複合化ですと、一定のスリム化を図った上で複合化した場合であっても、現在と同規模のグラウンドを確保するには一部地下化をする必要があり、コスト増になることが判明したりもしました。

そうしたことを受けまして、令和4年度～5年度に開催してきました懇談会については、7回開催をもちまして一旦終了となりました。中学校、図書館に限らず、周辺の区立施設を含む地域全体について改めて検討することになりました。

その後、昨年度、令和6年度に実施されたのが「西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討」で、1年間かけてワークショップを5回、地域意見交換会を1回、結果報告会を1回行って検討を進めてまいりました。

1枚おめくりいただきまして、3ページを御覧ください。

6年度に行われました「周辺施設の更新等に関する検討」におきましては、老朽化している西宮中学校とその周辺施設についてどのように建て替えなどを行っていくのか、建物配置を中心に様々な立場の皆さんとともに考えるということで、ワークショップ等を開催してきました。

対象となった施設は中学校、宮前図書館、宮前図書館に併設されているさざんかステップアップ教室、大宮前保育園、大宮前保育園の2階に併設されているゆうゆう大宮前館。ここには記載がありませんが、近隣の児童館につきましても対象として、どういうふうに更新していくかという検討を行ってまいりました。

1枚おめくりいただきまして、4ページを御覧ください。

令和6年度における検討を経まして決定したのが、こちらに記載のあ

るとおりとなっております。西宮中学校を改築するとともに、新たに（仮称）コミュニティふらっと宮前を西宮中学校に併設します。もう1つ書いてあるのが、ゆうゆう大宮前館は（仮称）コミュニティふらっと宮前に機能継承し、利用者の活動場所を確保するというので、こちらにつきましては令和6年度の「杉並区立施設マネジメント計画」の一部修正という形で、令和7年1月に決定をしております。

この計画で決定したポイント、考え方につきましては、参考資料として事前送付させていただきました「西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討 検討まとめ」の42ページ辺りから詳しく載っておりますが、そちらを全部こちらでお話しできないので、その内容の一部について次の5ページからご紹介させていただければと思います。

ワークショップ等において頂いたご意見、考え方として、仮に学校を単独施設として整備する場合も地域に開いていく仕組みが必要なのではないかと、逆に学校の面積を十分に確保できるのであればほかの施設と併設していく可能性もあるのではないかとのご意見、考え方を頂きました。

その中で「杉並区教育ビジョン 2022」という教育委員会が策定している計画ではどのようなになっているかといいますと、学校等の教育施設を、区民が生涯にわたって豊かに学ぶことができる施設とするとともに、人が交わりつながる基盤となる「学びのプラットフォーム」として整備していくことを掲げています。そして、何よりも子どもたちのための教育施設であることを大切にしながら、地域の拠点となる開かれた学校として多くの区民の施設需要に応えるとともに、将来の児童・生徒数の減少を見据えた、柔軟性のある施設づくりが求められているという記載がされております。

続きまして、6ページを御覧いただけますでしょうか。

学校を地域に開いていく仕組みとして、中学校内に学校施設として複数の集会室を設けることも考えられます。そうした場合と中学校に集会施設を併設した場合と比較してみたのが、こちらのページの記載になっております。

中学校内に学校施設として集会室を設けた場合については、使用時間を学校が使わない夜間や休日に限定する場合は、日中の活動が中心となるゆうゆう館利用者の活動場所としては難しいとか、集会室の貸出しや清掃などに伴う中学校の管理負担が増えてしまうのではないかと、集

会室利用者が学校内に入ることによるセキュリティの問題があるとか、あと集会室を貸室使用することが中心となってしまい、集会施設の運営事業者が実施しているイベントなどの実施が困難になるのではないかとか、そういうことがありました。

中学校に集会施設を併設した場合は、教育活動や部活動、地域ボランティアによる中学生向けの活動における活用ができるのではないかとか、災害発生時の震災救済所機能の向上等、施設の有効活用が期待できるのではないかとか、中学生や地域住民への幅広い相乗効果が見込まれるのではないかとか、中学校の管理負担の軽減や集会施設の運営事業者によるイベントも実施できるのではないかとかいうご意見がありました。

7ページを御覧ください。

このようなことを踏まえまして、改めて決定したプラン、計画がこちらになります。中学校を単独改築した場合と比べ、より一層、地域の拠点となる開かれた学校として整備することが期待できるため、中学校には集会施設を併設しますと。

あと、ゆうゆう大宮前館を機能継承し、利用者の活動場所を確保しますが、宮前地域に多世代が利用できる集会施設がないことや、中学生をはじめとした幅広い世代への効果が見込まれることを踏まえて、多世代型の集会施設「コミュニティふらっと」として整備し、地域の学びと交流の拠点となることを目指す。こちらが決定した計画の内容になっております。

ただ、その下に書いてあることが懸念点として上げられておりましたので、改めて記載させていただいています。

学校教育に必要な諸室や機能の充実、現在と同等あるいは同等以上の校庭面積の確保については、中学校を単独改築した場合と同様に行います。

コミュニティふらっと利用者が中学校の区画に許可なく立ち入れないようにする、中学生のプライバシーに配慮して建物配置を工夫する等、ワークショップ等における懸念点は、今年度以降に実施する基本設計等に生かしていく必要があると認識しております。

続きまして、8ページを御覧ください。

5ページから7ページでご説明してきた考え方について、施設ごとに整理してみるとこのようなことなのかなということ、あくまでイメージということでお示ししております。

中学生の学びの場を第一に考え、学校教育に必要な諸室や機能を

	<p>充実する。現在と同等あるいは同等以上の校庭面積は確保します。</p> <p>コミュニティふらっとでいいますと、多世代が気軽に利用できる施設、多世代交流イベント等も実施できるとか、ゆうゆう大宮前館の機能を継承して、高齢者団体の活動場所を確保する。教育活動や部活動、地域ボランティアによる中学生向けの活動にも活用できるのではないか。</p> <p>あと、学校は震災救援所にもなっていますので、併設することで機能の充実、コミュニティふらっとも災害時には震災救援所機能の一部として活用することもできるのではないかとということでまとめてみました。</p> <p>9ページは、改築・整備に当たって配慮することはいっぱいあると思うのですが、それについても書き出してみたいものになります。</p> <p>学校とコミュニティふらっとの出入口は別々にして、動線は分離する必要があるとか、それぞれの区画には許可なく立ち入れないような工夫が必要。時間帯によっては施錠管理とか常に防犯カメラを設置して、予防的な対応も必要とっております。あとはプライバシーへの配慮。目隠しとか意識した建物配置なども必要ではないかと言われております。</p> <p>10ページを御覧ください。</p> <p>今までこれまでの経緯ということで説明をさせていただきましたが、それらを踏まえつつ、今年度から実施するこの検討懇談会ではどのようなことを検討していくのかについて、こちらにまとめてみました。</p> <p>懇談会の目的は運営要綱第2条にある、こちらに記載のとおりとなります。</p> <p>この懇談会につきましては、主に前半で改築及び整備における基本的な方針について検討していきたいとっております。</p> <p>その後は区による設計事業者の選定を行いまして、後半では実際の校舎の配置、施設の配置、平面計画、基本設計の案などの検討をこの懇談会の中でできればいいなとっております。</p> <p>今後の進め方、イメージ、懇談会開催の予定などは、後ほど改めてほかのページのほうでご説明させていただきます。</p> <p>次第6の「これまでの経緯について」は以上となります。</p>
進行役	<p>それでは、次の議事に移ります。</p> <p>次第7「西宮中学校の概要について」、事務局から資料の説明をお願いします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>引き続き説明をさせていただきます。「西宮中学校の概要について」です。12ページを御覧ください。</p> <p>まず生徒数・学級数につきましては、令和7年度4月の速報値で、生</p>

徒数が 331 人、学級数が 9 ということになっております。8 年度から 11 年度まで記載してありますが、生徒については推計では微減というか、あまり変わらず、学級数についても変動がそんなにないという見込みとなっております。

施設規模につきましては、こちらに記載のとおりとなります。ただし、運動場の面積につきましては 4,635 とありますが、こちら建物用地以外の面積になります。授業や部活動等で使用できる実際の校庭の広さとしては、約 4,400 平米ということになっております。

続きまして 13 ページ、「西宮中学校 校舎の状況」について記載させていただきます。

昭和 36 年に設立ということで、区立宮前中学校西分校が独立して区立西宮中学校として設置されたとなっております。その後、体育館とかプールが完成しまして、平成 13 年に北東校舎を改築したのが大きい改築の最後となっております。最も古い管理・教室棟が築 64 年になりますので、老朽化が進んでいるという状況になっております。

14 ページを御覧ください。「学校施設の目指すべき姿」「改築検討における主な視点」ということで書かせていただいております。参考資料 1 でお配りしている「杉並区立学校施設整備計画」より一部抜粋をしております。

今後、設計を進めるとか懇談会で検討を進める中で、こちらの整備計画に基づくことについても全体においてご検討いただきたいということで載せさせていただきました。

「将来を見据えた教育環境の確保」のためには、安全・安心で、快適に過ごせる学習・生活空間の整備が必要でと、多様な教育に対応できる学習環境の整備、地域の拠点となる開かれた学校づくり、将来転用可能な柔軟性のある施設づくり、環境に優しい施設づくりなどが挙げられております。

「学校施設の標準規模の見直し」ということで、改築規模の見直しによる一定のスリム化への取組も必要になるのではないかと、地域の核となる施設としての適切な施設規模の確保も必要なのではないかということ載せさせていただきます。

「改築検討における主な視点」としましては、将来の生徒数の変化を見込んだ施設づくりが必要でと、防災機能のさらなる充実や地域に開かれた学校づくりも必要。コスト面なども含む総合的な視点に立った施設づくり。適切な維持管理の下で、改築が終わりましたらその後築 80

	<p>年を目指すということで、長寿命化の考え方に基づいて改築も必要です。懇談会での保護者、学校関係者、地域住民などの意見を踏まえた検討もしていきたいということで載せております。</p> <p>「西宮中学校の概要について」は以上となります。</p>
進行役	<p>それでは、次第の8番「コミュニティふらっとについて」、担当課から資料の説明をお願いします。</p>
地域施設担当課長	<p>改めまして、地域施設担当課長です。着座のままで失礼させていただきます。</p> <p>私からは、今後、西宮中学校の改築に合わせて整備することとなりましたコミュニティふらっとがどのような施設であるかにつきまして、ご説明申し上げたいと思います。</p> <p>資料は今の引き続きになりますが、資料4の16ページをお開きいただければと思います。こちらには標準的なコミュニティふらっとという施設のイメージを掲載してございます。</p> <p>コミュニティふらっととは、いわゆる集会施設の1つになります。集会室や多目的室などの貸室、また誰でも予約なしに利用することができるラウンジなどで構成された施設となっております。貸室を有する集会施設ということでは、例えば高井戸の地域区民センターなど近くにございますけれども、その地域区民センターでしたり、ほかの地域だと区民集会所と呼ばれるような集会施設もございます。</p> <p>しつらえについては同じような中身となっているものですが、このコミュニティふらっとにつきましては、施設の設置目的として、この資料の上にも書かれておりますけれども、「乳幼児親子を含む子どもから高齢者まで、誰もが身近な地域で気軽に利用でき、世代を超えて交流・つながりが生まれる新たな地域コミュニティ施設」といったところで、交流を育んでいくことを目的としているところがございます。</p> <p>ただ、施設、箱があるだけでそういったものができるわけではございませんで、そのために施設の運営事業者で多世代交流のイベントでしたり、あとは講座やサロンなどの運営事業者の自主的な事業を展開していくなど、交流につながるような仕掛けを進めているところが特色になっています。</p> <p>次の17ページのスライドを御覧ください。</p> <p>こちらにつきましては、コミュニティふらっとのもう1つの特徴として、高齢者の活動施設であるゆうゆう館の機能を継承した施設であるというところがございます。</p>

	<p>今回整備するコミュニティふらっとには、ゆうゆう大宮前館の機能を継承していくこととなります。こちらのゆうゆう館につきましては後ほど担当所管課からまたご説明をさせていただきますけれども、コミュニティふらっとにおきましては、これまでゆうゆう館で活動されてきた高齢者団体の方々がコミュニティふらっとでも同様に活動ができるように、貸室の時間枠の一部に高齢者団体の優先枠を設けてまいります。</p> <p>この優先枠につきましては、一般の利用者よりも先んじてお申込みを受け付けて、予約をどんどん埋めていくと。そして、最初から高齢者団体優先枠としなかった時間枠であったり、高齢者団体の優先枠として割り振ってはいるけれども、申込みがなかった時間枠については、一般利用者が使えるようにしていくという考えで運営をしてございます。</p> <p>基本的にゆうゆう大宮前館を利用している団体の活動状況に応じて、高齢者団体の優先枠を設定していくことにはなるのですが、ほかのコミュニティふらっとなどでも一般の方が全く使えないということはないので、一般の利用者の枠についてもきちんと確保しながら進めていくという考えでございます。</p> <p>17 ページの資料の下のほうには、先ほど申し上げました自主事業でしたり多世代交流イベントにつきましても記載してございますので、この点につきましては各自ご確認いただければと存じます。</p> <p>これまでコミュニティふらっとにつきましては、区内で8か所に開設してきております。いずれも施設の運営事業者が地域の皆様と一緒にあって、施設を通して地域を盛り上げてきていると認識しているということで、今回整備するコミュニティふらっとにつきましても同様に、地域に根差した施設になると期待しております。</p> <p>今回は初めて中学校の敷地内に併設するコミュニティふらっとになるということ、またこれまでこの地域につきましては集会施設がなかったというところがございます。そうした地域、エリアへの施設整備というところで、ほかにはない新たな魅力を持った施設にしていきたいと考えておりますので、皆様から忌憚なきご意見を頂きながら、設計等まで進めていければと思っております。また、設計の後の運営につきましても地域の方々とうまくやっていければと思っておりますので、ぜひどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>私からの説明につきましては以上となります。どうぞよろしく願いいたします。</p>
進行役	次に次第の9番「ゆうゆう大宮前館について」、担当課から資料の説

	<p>明をお願いします。</p>
<p>高齢者施設整備担当課長</p>	<p>こんにちは。高齢者施設整備担当課長です。どうぞよろしくお願いいたしますします。</p> <p>19 ページ御覧いただければと思います。</p> <p>ゆうゆう館を皆さん知らない方が多いかなと思いますが、基本的に杉並区民の 60 歳以上の方々が利用する専用施設となっております。</p> <p>ゆうゆう館は高齢者の健康増進ですとか学び、レクリエーション、生きがい活動ですとか社会参加を目的に整備をさせていただいているものですが、区内には現在 26 施設ございます。昭和 38 年に敬老会館ということで設置をしてから、各地域 3 か所から 6 か所程度整備をさせてもらったのですが、平成 18 年に名前をゆうゆう館に変えさせていただいた。現在、6 館ほどがコミュニティふらっとに機能継承したという状況になってございます。</p> <p>開館時間については、午前 9 時から午後 9 時までです。</p> <p>利用方法は、個人利用、団体利用、目的外使用の 3 つが通常の使われ方になります。</p> <p>そのほかに、ゆうゆう館では施設運營業務を行う N P O 法人が協働事業を実施してございます。ゆうゆう大宮前館については、N P O 法人 C B すぎなみプラスというところに運営していただいています。特徴的な協働事業としては、英会話教室ですとか、中国語教室、また囲碁の初級講座みたいなことをやられています。</p> <p>そのほかに区の委託業務として、三療サービスというのを実施してございます。三療サービスというのは、高齢者の方々を対象にマッサージを行う有料のサービスでございます。</p> <p>20 ページを御覧ください。</p> <p>「ゆうゆう大宮前館の特徴」を記載させていただいておりますが、現在、ゆうゆう大宮前館は大宮前保育園に併設してしまっていて、大宮前保育園の 2 階にございます。この保育園の建て替えに当たって、一緒に入ればよかったのですが、現在の保育園を、同規模の定員を確保すると、どうしても施設を大きくせざるを得ないといった問題がございました。そのため、今回コミュニティふらっとに機能継承しながら、西宮中のほうと一緒にさせていただくということになっています。</p> <p>どのゆうゆう館も老朽化の状況になっていまして、大体 200 平米ぐらいの施設です。洋室 1、2、3 と、あと談話コーナーがあり、運営をしている状況です。</p>

	<p>現在、ゆうゆう大宮前館には 26 団体ほど高齢者団体がございまして、260 名程度の方が利用団体登録をされています。そのほかに、一般の方も多いのかなというところがございます。利用者の傾向は、60 歳以上と言っているのですが、70 代、80 代の方が大体 9 割程度を占めてご利用いただいています。</p> <p>高齢者が利用されるということで、団体利用登録の住民の方は、概ね 65%程度は施設から半径 500 メートル以内にお住まいの方が多いという状況です。</p> <p>21 ページ御覧ください。</p> <p>「ゆうゆう大宮前館の利用実績」ということになっていますが、施設全体でいいますと 53%と低く見えるのですが、午前中と午後の利用については約 7 割を越してきているところです。どうしても夜間、18～21 時の時間は、大宮前館に限らず、どこのゆうゆう館でも夜間の利用は低迷している状況でございます。</p> <p>利用人数の推移です。令和 5 年度までしか記載されていませんが、コロナ禍以降、ようやく利用者がだんだん増えてきたところで、令和 6 年度も、延べ人数ではございますが、約 9,000 人ほど利用いただいているという状況になってございます。</p> <p>簡単ではございますが、ゆうゆう館についてのご説明をさせていただきました。</p>
進行役	<p>ただいま西宮中の特色、これまでの経緯、西宮中の概要、コミュニティふらっと、ゆうゆう大宮前館について説明がありました。一旦ここでの説明について、質問などがありましたら挙手をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>14 ページの「②学校施設の標準規模の見直し」のところ、ちょっと分からないので教えていただきたいのですが、「改築規模の見直しによる一定のスリム化への取組」の「スリム化」というのはどういうことでしょうか。今の建物の内容よりも減らすという意味ですか。どういう意味ですか。ちょっと分からないのでお教えてください。</p>
学校整備課長	<p>こちらは従前ありましたコンピューター室ですとか、ランチルームですとか、そういったものが、井草中だとか、かなり大きく建て替えた時期にはあったのですが、今はタブレットだったりという部分もありまして、それから現在、これから集中的に学校については建て替え時期を迎える、建設費も非常に高くなっているといったところを踏まえまして、令和 3 年度に学校施設の標準の見直しをして、そういった一部の</p>

	<p>諸室についてはなくなつたと。</p> <p>ただ、少人数教室ですとか必要な諸室などについてはしっかり整備していくということで、時代に合わせて見直したといった範疇ということでございます。</p>
進行役	<p>よろしいですか。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p>
委員	<p>12 ページ見ていただいて、「西宮中学校の概要」の部分です。疑問な点が出たのは敷地面積の誤差で、私も今まで気がつかなかつたのですけれども、ざっと計算すると当初から 731 平米減るのですね。坪数にすると、今計算したら 221 坪かな。あまりにも誤差があり過ぎるので、これ数字間違いないのかどうか。実測したのが、あまりにも最初の、恐らく施設台帳にこれ全部登録していると思うんですけれども、あまりにも多いのは数字が間違えたのではないかとちょっと思ったので、申し訳ない、確認だけさせていただきたいと思います。</p>
学校整備課長	<p>ありがとうございます。おっしゃるとおり、1 万 808 m²というのは昭和以前からこのような形で台帳上、あるいは財産上登録されていますが、直近で実際に測量した結果が 1 万 77 m²ということですので、正確なのは下のほうと捉えています。</p> <p>直近で測量した結果ですので、実測に近いのは下のほうという認識でございます。</p>
委員	<p>話は実測ですから分かりますけれども、あまりにも誤差が大き過ぎるというのは、自分の経験上こんな実測と誤差があるというのは、実は私も今気がついたので、前の数字があまりにもずさんといえずさんなのか、そこが坪数で 220 というのと、平米数で 700 ですから結構な。実測すれば 10 平米だとか 20 平米ぐらいだったら誤差あるでしょうけれども、ちょっと多いなというので。これが実測なのでやむを得ないと思うのですけれども、当初があまりにもずさんだったのかな。</p>
学校整備課長	<p>多分、昔、登記簿とかそういったところをベースに恐らく登録されているのかなと思うのですけれども、今回改築に当たっては改めて測量、実測をいたしますので、そちらのところで新しい数値ができたときには、台帳なり財産のほうも実測値に合わせてしっかり修正していきたいと思います。</p>
委員	<p>分かりました。結局、増えたらいいんですけれども、減っているのです、全体の規模がかなりまた縮小されるということはしようがないと。そこ</p>

	は理解いたしました。ありがとうございます。
進行役	ほかにいかがでしょうか。お願いします。
委員	<p>今のことと関係するのですけれども、ここに図書館を併設するという議論をしたときの校地面積というのは、どちらの面積で議論されたのでしょうか。高井戸中学校から比べると、本校は3,000平米小さいのですよね。それにこの731を足すともっと狭くなってしまいますのですけれども、その辺のところをちょっと教えてください。</p>
学校整備課長	<p>3年前に図書館との複合化の改築検討懇談会の際の資料では同じような形で記載はさせていただいております、実際に設計会社に幾つかスタディしてもらったときには下の実測に近いものでやっているという認識でございます。</p> <p>上のほうは、古い台帳に数値が残っております。これが一応公称値ですので、そちらのほうは記載させていただいておりますが、あくまで実測は下のほうで、こちらでやっていくという考えでございます。</p>
進行役	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>では、ほかに。お願いします。</p>
委員	<p>資料の8ページ目のところにあるのですけれども、今回、中学校との複合施設は、杉並区にとって初めて学校関係と複合になると、唯一成田でしているのは保育園とコミふらが一緒ですけれども、保育園だったので、教育関係と一緒にというのは杉並区としては初めてですよね。</p> <p>その中学校の目指すイメージで、「学びのプラットフォームとして地域の拠点」も私の知る限りでは、西宮中学校が初めて「学びのプラットフォーム」ということで開かれた学校になるのではないかと考えているのですけれども、当然この話は以前にも出て、9ページ目にありました配慮すべき点というところのセキュリティだったりプライバシーがやはり大きな問題として、どこと複合にするのかと出てきたかとは思いますが、これらをして、コミふらと一緒にすると決定しました。</p> <p>逆に中学校側からしたときの「学びのプラットフォーム」が、杉並区の教員委員会としてどういうイメージでこの宮前地区にあると、確かに、西荻から久我山のエリアには地域施設がありません。それはずっと私も気になっていたところです。だから、ゆうゆう館を利用して多世代に近い交流もさせていただいているのですが、その辺り、多世代交流のできるコミふらと中学校が「学びのプラットフォーム」。</p> <p>実は私はずっと中学校におりますので、中学生がすごくいろいろな意味で地域で活躍していますから、中学校とのプラットフォームはある意</p>

	<p>味とてもいいかなという見方もするのですけれども、杉並区教育委員会としてはどういうイメージを持っていらっしゃるのかお伺いしたいと思います。現時点で構いません。</p>
学校支援課長	<p>今、委員がおっしゃったところですが、「学びのプラットフォーム」というキーワードは、今改築中の神明中や、杉一小の改築基本方針にも、入っています。</p> <p>「学びのプラットフォーム」という言葉自体は杉並区教育委員会が使っている言葉、今日お配りしている「教育ビジョン 2022」の中で取り上げられているキーワードになります。</p> <p>この「学びのプラットフォーム」というキーワードの中に含んでいる観点としては、大きく2つあるかなと。</p> <p>1点目は、これからの子どもたちの学び、よく「探求」というような言葉を聞かれることもあると思いますし、あと「主体的・対話的な学び」ということを聞かれることもあると思うのですが、社会や地域との関わりの中で一人一人が自分の知りたいことを調べながら、いろいろな学び方を身につけていくような学びが広がっていく、子どもたちにとっての「学びのプラットフォーム」という要素もあるでしょうし、また、人生100年時代と言われる中で、学校教育を終えた後の人生の中での世代ごとの学びの機会を、身近な場所に多様に用意していく必要があるのではないかと。高齢者含めて、そうした学校を卒業してからの大人にとっての「学びのプラットフォーム」という要素があるかなと思います。</p> <p>そして、「プラットフォーム」なので、子どもは子ども、大人は大人それぞれの学びということではなくて、先ほど西宮中のこれまでの学校教育の特徴の中でも触れられていましたが、かかわりつつながり、いろいろなところで子どもと大人の接点生まれ学び合う機会が生まれていくようなことを全体として捉えたコンセプトになっております。</p> <p>なお、交流というのはいい面もありますが、一方で非常にリスクを伴うこともあるかと思しますので、改築に当たっての動線の確保は当然この大前提として置かれるものだと考えております。</p> <p>以上です。</p>
委員	ありがとうございます。
進行役	では、ほかによろしいでしょうか。
委員	<p>質問といたしますか、確認事項と、それから課題になりそうなことを少し整理させていただきたいと思います。</p> <p>1つは中学校の開放といたしますか、コミュニティふらっとが併設され</p>

	<p>るということですが、例えば体育館ですとか、一部学校施設の地域への開放は想定されているということでしょうか。</p>
学校支援課長	<p>学校施設の地域への開放は西宮中に限らずどこの学校も、学校教育上支障のない範囲で社会教育での利用、スポーツでの利用と、こうしたものを促進していくのだというのは各種法律でも規定されているところがございます。</p> <p>これまで学校開放というところで切り分けて使っている部分でいくと、平日で夜間、また土曜・日曜に関しては日中、昼間から夜までということで、学校が使わない部分で地域への開放は行っております。</p>
委員	<p>それは体育館以外の施設もということでしょうか。</p>
学校支援課長	<p>体育館と校庭が基本ですが、それ以外に開放会議室という形で、開放を想定して動線を確保した会議室を持っている学校においては、開放会議室なども開放の対象になっております。</p>
委員	<p>その考え方は新しい改築後も基本継承するという想定でよろしいでしょうか。</p>
学校支援課長	<p>学校教育で使わない部分を地域に開放していこうというのは今回に限らず、これまでもそうしているという考え方でございます。</p>
委員	<p>分かりました。恐らくそこにも絡んでくると思うのですが、今回コミュニティふらっとを併設するというので、それ自身はよろしいのかなと思いますが、中学校とコミュニティふらっと側が少し共有できるような部分というのが出てくるのか。中学校が終わった時間、例えば7時、部活が終わった時間になると思いますが、今までのように体育館と一部校庭とかではなくて、もしかするともう少し開放できる部分というのが、通常の学校に比べるとやりやすくなっていくという形もあると思いますので、そこはもう少し検討事項としてあり得るのかなというのが考えられます。</p> <p>あと、管理手法というのは特に今想定されてないですか。例えばそういう開放していくことを考えると、学校側が管理するというのは恐らく学校の開校時間だけだと思いますので、休みとか開放している時間とか、あとはコミュニティふらっとの管理も含めてそれぞれ別々に考えているのか、場合によってはSPCのようなFPIのように、何か事業者が入って全体の施設の管理をするということも考えていらっしゃるのですか。そこはまだ決定ではないですかね。</p>
学校整備課長	<p>管理運営について詳細はこれからですけども、今回コミュニティふらっととの併設ということで、そちらには運営者がいて、そして貸館の</p>

	<p>受付などもするという事ですので、学校の開放についても、今、副校長先生の負担にかなりなっているところもありますので、そういった分も含めて中学校に集会施設を併設するメリットということで、6ページ辺りでも少し説明はあったところですが、中学校の管理負担の軽減、それから集会施設の運営事業者によってさらに学校施設の活用も進むのではないかとすることは目指しているところでございます。</p>
<p>委員</p>	<p>幾つか事例はあるとは思いますが、その辺が恐らく今回非常に重要になってくるのかなと思います。恐らくばらばらに、安全上というのと、今のままだと完全に分けるといって形になると思うのですが、それだと施設の相互利用みたいなものがうまく進みにくいということもあります。一方で、管理面でセキュリティの問題というのも非常にあります。それから、学校の負担が変に増えてしまっても大変だと思いますので、恐らくその辺の管理手法といいますか、管理運営手法を少し新しくする必要がありますのかなと思います。</p> <p>もう1つの懸念事項としては、生徒数は今微減といいますか、そんなに変わらないような想定ですが、改築した後は、恐らく数十年ぐらい先まで考えていく必要があると思います。10年後、20年後ぐらいに、例えばクラス数がかなり減っていくみたいなことが想定されるのか。その辺の時間軸で考えた場合に、もしコミュニティ機能を入れてあった場合にクラス数が減っていったということであると、そっこの部分をコミュニティふらっと側のほうに移していくといいますか、別の自治体で関わったことがあるのですが、ある程度人口が少しずつ減っていくという想定の場合は、ある時期に中学校として整備した部分を公民館側に移すみたいな、最初からそういうふうには計画しておかないとなかなか難しいと思うのですが、その辺の想定もあるのかなと思います。人口がどうなるというのはなかなかお答えしにくいと思いますが、何か少しその辺で検討されていることがあれば。</p>
<p>学校整備課長</p>	<p>ありがとうございます。人口推計、子どもたちの数、非常に大事なところかなと思っております。今日は資料の中で5年後ぐらいまでですけれども示しております。次回以降、10年、その以降というのは今生まれてない子たちになってきますので、人口の推計という部分も出てきますが、現在、少子化も全国的にはかなり急激に進んでいるところもございます。一方、これから建てる学校は80年、100年というところを考えると、いかないとはいけませんので、当面の学校機能をしっかり確保しながら、そういった長期の目線でしっかり見ていく必要があると思っていま</p>

	<p>すので、次回以降、その辺の長期的な目線のところについて、また少しお示しさせていただければと思っております。</p>
委員	<p>最後に、先ほどから中学校の面積のことをいろいろ心配されるようなご意見もあるので、恐らく先ほどのビジョンのところでもIT化とか、個別化とか、アクティブラーニングというのも文科省が今出していますが、恐らくそこを推進していくとどうしても機能的には向上、拡張せざるを得ないと。そうすると面積が減らせるというよりも、教室や、特にタブレットがあるとコンピューター室は要らなくなるという先ほどの話だったのですが、逆にタブレットを保管するような場所とか、あとモニターを使うとかが出てくると、教室自身がなかなかそういうスペースを確保できにくいということもあるので、その辺のスリム化というより、逆にいろいろ機能拡張という部分も考えていかないといけないので、面積に関しては少し慎重な検討が必要なのかなと個人的には思っております。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>では、質疑よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>すみません、いいですか。</p>
進行役	<p>お願いします。</p>
委員	<p>今いろいろご質問に合わせてご意見的なところも出ていたかなと思うので、私からも1点、意見的なところと質問と併せてお願いしたいと思います。</p> <p>今出ていたお話で、協働を生み出していく仕掛けみたいところと、管理運営のバランスというところが出てくるかなと思います。今回のすごい特徴だと思うのは、中学校ですので、大きい言い方をすると、社会全体で中学生という時期をどう考えるかということがイメージできるということが、協働とかを目指していくときにはとても大事なかなと思っています。</p> <p>というのは、理念的なところはあるのですが、それを市民の方、使う生徒も含めて体感できていないとなかなか、使う人は使うけれども、使わない人は使わないということだし、今までと同じですよみたいな形で進んでいってしまったりしますので、新しくなる理念をどう共有していくかということ考えたときに、核になるというかユニークになるのは中学生という存在だと思うのですね。</p> <p>そのときに、いろいろな大人から見て、中学生はすごくイメージが多</p>

様だと思うのです。もう活躍できるというか、地域でとても活躍する時期だよねという見方もあれば、思春期という問題を抱えたり、大変揺らぐ時期でもあります。今「探求」という言葉、キーワード出てきたりして、中学生らしい探求がどう進むかみたいなのところも、社会から見ると実は非常に分かりにくかったりもすると思うのです。

この時期の探求というのは、大人の何のテーマもなくともどんどん探して見つけて、自分で問題解決してというよりは、一定の手立てがまだ要る時期というか、よく言われる自己肯定感をつけていったり、探求課題を見つけて、深めて、広げていくときに、今まで知っていることを材料にするとか疑似体験、「代理的な経験」とか言いますが模倣ですよ。上手にやっている人を見るとか、実際にすぐ成功体験があるとか、何年も先とかいうのはこの時期なかなかまだ難しく、やってみたことが「こうやったら解決した」「うまくいった」みたいな成功体験があって、褒められて、わくわくしてまた探求するみたいな、少し大人のスパンとは、もう少し短いスパンで子どもが具体的に経験していく時期だと思うのです。

「何となく中学生ってこんな感じ」みたいなことが、お子さんを持たれない大人の方もいらっしゃると思うので、共有できていったり、それであったら一緒に何ができるかということが具体的にイメージできたりというプロセスが多分いろいろ入っていくことが大事で、そうでないと「今までのことがやりにくくなった」とか、いろいろ出てくると思うので、改築のプロセスの中にぜひ入るといいなと思っています。

長くなったのですがけれども、質問というのは、どうしても改築検討委員会で決まってしまうから、ほかの使う方々は「もう決まっちゃったのね」みたいなことがよくあると思うのですがけれども、学校運営協議会あ子どもなどは、例えば先ほどのコミュニティふらっとを見たときにどう考えるのか、ここの施設をどう使いたいと思うのかとか、この委員会と共通して走る検討のプロセスやワークショップなどがどう計画されているのかという点です。どうしても改築委員会のほうは建築的なことも含めて恐らく決めていかなければいけないことが結構多く、夢はあまり語りにくい場かもしれませんので、この施設からどういう機能が生み出せるかとか、何を共有できるかとか、何を理念にしようかみたいなのを検討できる場が並行して走って、みんなでこういうふうにつくりますよねという、プロポーザルに向かうまでにそのプロセスが可視化されているといいなと思ったのです。

	<p>先ほどの 25 ページの「改築スケジュール（予定）」にはまだそういったところは書かれていなかったもので、ほかの検討会議との関係性みたいなところでどういうことを進めていかれようとしているかとか、それを可視化するとどんな感じになるかとか、その辺りを伺えたらありがたいと思いました。お願いしてもよろしいでしょうか。</p>
学校整備課長	<p>ありがとうございます。25 ページ辺りの今後の進め方については後ほどご説明させていただければと思います。</p> <p>それから、あと今頂いたご意見の中で、今回コミュふらとの併設ということで、新しいチャレンジというところもあります。イメージをしっかり持っていくという意味では、子どもたちの意見を聞いていくことについても今学校ともご相談させていただいているところですので、子どもたちの柔らかい頭で、そういったイメージを我々としても膨らませていけるといいなど。そういったことは考えているところでございます。</p> <p>進め方については、後ほど係長からご説明させていただければと思います。</p>
委員	<p>承知しました。</p>
進行役	<p>では、ご質問よろしいですか。</p>
委員	<p>どこの機会で発言すればいいかちょっと悩んでいたのですけれども、一言だけ発言させていただきたいと思います。</p> <p>どのような学校にするかということについて、具体的にまだ本格的には話してないのですよね。もちろん「杉並区立学校施設整備計画」に基づいて、こういう教室とかこういう施設、それから学校規模はこうですというのが提案されて、この規模で学校を改築すればふらっと等を足しても何とかなりますという前提で進めています。</p> <p>今も話出てきましたけれども、その学校、例えば今これ見ると今年は 9 クラスになったのですけれども、それは 1 年生が 35 人学級だったのが 2 年生になるとときには 40 人学級に戻ったので、4 クラスが 3 クラスになったのです。ですから、もし今小学校が 1、2、3 と学年進行で、35 人学級になったのが中学に続いていけば、中学校も 35 人学級になれば、今の 2 年生と 3 年生は 4 クラスになるのですよね。そうすると、ここを使用するときは 11 クラスになります。</p> <p>それはこっちに置いておきますけれども、教室の設備は今 2 年生が 40 人になった状況ですけれども、昔と同じ教室の中に、そちらの目の前にあるのと同じディスプレイが置いてあるのですけれども、一番前の生徒は目の前にあるのですよね。熱もすごく熱いので、学校長からもク</p>

	<p>ーラー設備をもうちょっと改善してほしいという要望を区にしているのですね。外も暑いですが、教室の中でも暑い。</p> <p>それから、今、一番前の生徒から7列並んでいるので、一番後ろの生徒のすぐ後ろがロッカーなのですね。だから、授業の準備でロッカーから出すときにそこに生徒がたまって、なかなかみんな苦勞しながらやっている現状があるのです。</p> <p>机も昔と同じ大きさですが、タブレット、今は教科書、ノート、副教材、それからファイルなんてあるともう置くところがなくて、生徒たちは重ねて置いたり、間違えて落っこしたりしているのですね。そういう状況だから、前もお話ししたけれども、もう少し大きな机を入れるとかいうことも含めて教室は考えてもらえませんかということ。</p> <p>あるいは、個別対応の指導が必要になって、別室で指導する子も何人かいるのですが、そうするとそういう教室、今は昔の教室で、幾つか空いているのでそこでやるのですが、足りなくて、教材室みたいな物置部屋みたいなところで個別指導している現状もあるのです。ですからこれからの時代、特に杉並区、一人一人の子どもたちを大事にするという教育をするための学校設備として、新しい考えで計画してほしいというのは何回もお願いしたのですが、このことは具体的な本校の改築のときに発言すべきことかなと思ったのですが、このまま行くと「面積狭いから広げられません」とか「決まりですから」となってしまうのかなと思いましたので、一言だけ発言させていただきました。</p>
<p>学校整備課長</p>	<p>ありがとうございます。これまで申し上げてきたことの繰り返しですが、敷地が狭いからとか、あるいは集会施設と一緒になるから学校施設を小さくするとか、そういった考えは全くございません。</p> <p>それから、先ほど35人学級というお話もありましたけれども、報道ベースですが、中学校においても来年度から実施という報道もございます。そういったことも踏まえて、学校として必要かつ十分なスペースはしっかり設けていくことは、昨年のワークショップの中でも確認してきたことですので、そこは少なくともしっかりやっていくというのが大前提。その上で、集会施設等をさらに複合化するメリットをどのように工夫できるか。先ほど学識経験者の方からのご意見もございましたけれども、そういったことを工夫して、将来に向けて教育環境をしっかりとよくできるような学校にしていきたいと思っています。</p> <p>それから、机についてはこの学校はどうだったか分からないですけれ</p>

	<p>ども、今 J I S 規格も変わっております。左右、縦横 5 センチずつ広い J I S 規格の机に徐々に替わっています。そういったことも徐々に世の中変わってきているといったことですので、ほかの学校に比べて小さくするとか、そういった考えは全くありませんので、そこはご理解いただければと思います。</p>
進行役	<p>では、よろしいでしょうか。</p> <p>今、事務局からの資料に対する質疑が終了しましたので、今度はこの懇談会の今後のスケジュールについて説明をお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>今後の進め方、懇談会の開催予定などを説明させていただきます。同じく資料 4 の 23 ページを御覧ください。</p> <p>懇談会は本日の第 1 回から、合計 9 回程度開催する想定としております。</p> <p>第 2 回には「改築規模・諸室、基本方針（たたき台）」の検討を予定していますが、「事例見学」についても今調整しておりますので、そちらの関係上、2 回と 3 回目の内容を入れ替える可能性がございます。</p> <p>第 4 回までに「基本方針（案）」の策定を目指していきたいと考えております。</p> <p>その後、設計事業者の選定を行った後に、敷地内の建物の配置案ですとか建物内の平面計画の検討へと進めていきたいと思っております。</p> <p>検討の進捗によって回数が前後することもあります。令和 8 年 6 月までに「基本設計（案）」をまとめていきたいというようなスケジュールで考えております。</p> <p>どういふものをまとめるかというイメージですけれども、そちらにつきましては参考資料 3 「杉並区立神明中学校改築基本設計まとめ」をご用意しておりますので御覧いただきたいと思います。なかなかボリュームがあるので説明のほうは省かせていただきますが、こちらの 8 ページに「改築基本方針 全体像」というのがあります。こういうものをつくっていくというイメージでいただければと思います。こちらについては基本方針を委員の皆さんを含め、改築に対しての共通のイメージを共有するためということで作成していきたいと思っております。こちらのほうを設計の概略である基本設計に活かしていくという考えでございます。</p> <p>本日もそうですが、今後の懇談会でのご意見などをこちらの基本方針作成に当たっての参考にさせていただきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしく願いいたします。</p>

	<p>資料4の24ページを御覧ください。</p> <p>こちらに「その他、今後実施予定」を書いてございます。改築の検討懇談会が再開というか、スタートしましたので、そのことについて「(仮称)改築ニュース」というようなものをまた発行させていただきたいと思っております。こちらにつきましては、その段階ごとに住民、関係者のほうに適宜配布したいと思っております。</p> <p>6月から7月にかけて、アンケート調査などを実施したいと思っております。当事者である中学校の生徒とか、教職員とか、あとゆうゆう館利用者などということで記載させていただいていますが、先日校長先生と打ち合わせしたときには、アンケートではなくて、集まってお話をして中学生の意見をもらうとか、そういうのもありではないかというご意見も頂いておりますので、こちらについてはまた内容について精査しまして、決まり次第こちらの懇談会等でもお知らせしたいと思っております。そういう形で集約したご意見等もこちらの検討懇談会の議論に生かせるように資料化して、配付させていただきたいと思っております。</p> <p>最後、25ページに「改築スケジュール(予定)」を載せています。</p> <p>今年度末から来年度にかけてこの検討懇談会を進めながら、基本設計のほうも進めていくという内容になっております。工事が始まるのは設計が終わった令和10年度からと、今のところ想定しているところでございます。ただし、校舎の配置がどうなるかとか、工事前の申請等にどんなものが必要かとかで、この辺のスケジュールや期間が変わってきますので今は何とも言えないところがあるのですが、いつから新校舎使用できるのかというところでいいますと、現時点では令和13年度に使用開始ができるようなイメージをしております。その後、仮設を造った場合には仮設を壊して、既存校舎の一部も壊して、校庭等も整備して、最終的に全てきれいになった校舎、施設ができるのが14年度になるのかなと。建物自体は13年度に完成を目指して、そちらかなというふうには考えておりますが、その後もちょっと工事が入るというようなスケジュールになっています。</p> <p>今後の進め方イメージ、懇談会開催予定などについてのご説明は以上になります。</p>
進行役	<p>それでは、今スケジュールの説明がございましたが、今回は第1回目の会議になりますので、基本方針、コンセプトの作成に向けて、委員の皆様からご意見を頂きたいと思っております。</p> <p>それぞれ推薦いただいた団体のお立場や考えがあることと思っております</p>

	<p>が、改築検討懇談会ですので、生徒たちが過ごしていく学校の改築において、また新たなコミュニティ施設、コミュニティふらっとの整備において大切にしたいこと、必要不可欠だと思うことなどに重点を置いてご発言を頂きたいと思います。特にないようでしたら、「特にありません」ということでも結構です。学識の先生方には最後にコメントを頂きたいと思います。</p> <p>それでは委員から、時計回りでご発言をお願いします。</p>
委員	<p>私も中学校が学校としての機能と役割をしっかり果たせるということがまず前提かなと思うのです。ただ、それが本当にきちんとできた上で集会施設と一緒にあって、今この辺に中・高生の放課後ちょっと寄れる場所みたいなものがないというところは、私も今息子が中3で、ちょっと離れたところのゆう杉まで遊びに行ったりとかしてはいますが、「やっぱりそういうところがあるといいんだな」というのをすごく感じておりますので、そういう施設があるということできちんと両方の機能が果たせて、しかも安全面も確保されてということで、そういうところがきちんとなるのであれば、これについてはいい考えだなと思っています。そのためにみんなで話し合っていけたらなと思っています。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>今日はありがとうございました</p> <p>他の委員の方がおっしゃっていたように、中学校で過ごす子どもたちが何不自由なく部活、特に西宮中は部活動もすごく盛んで、体育館とあと校庭ですね。校庭にはもちろん野球、サッカーもできる場所もありますし、テニスコートも単独であります。なので、それぞれが同じ日に、みんな部活動ができるという状態が今あります。</p> <p>校内も文化部の例えば吹奏楽部ですとか、そういったところは教室とか、廊下とか、あとここの多目的室とかをフルに使って、パートごとに練習をしたりですとか、常に校舎の中を日常使っております。</p> <p>うちの娘、下の子が今2年生なのですけれども、先ほど委員がおっしゃっていたように40人おります。なので前のぎりぎりから後ろ、本当に背中がロッカーにくっつくぐらいの中、子どもたちも体が大きくなっていっぱいの中、身動きが本当に取れないような状況の中で生活しております。</p> <p>今、小学校6年生まで35人学級ということで、国の施策で進めていると思うのですが、先ほどもまだ仮定でということがありますが、中学校もきっと35人学級。1年生は、杉並区は35人学級ですけれ</p>

	<p>ども、この後、そういった形でどんどん少人数の学級制になってくると思いますので、本当にぎりぎり。今9クラスですけれども、余分があるクラス数をしっかり確保いただく、活動できる場所をしっかりと取っていただくことが本当に重要ななと思っております。</p> <p>あとコミュニティふらっとが併設されることによって、この辺は学校が終わった後に過ごす場所、休日ですとかテスト勉強とかで図書館も使うのですけれども、やっぱり友達で話し合っって質問したりという場所ではないのですね。静かに勉強しなくてはいけないので、そういったいろいろな使い方ができる、また居場所になる、ちょっと話したいときに寄れるという場所をしっかりと確保していただけるように、ティーンの使用の時間とか曜日ですとか、そういったものも設定いただけるとありがたいと思っております。</p> <p>すみません。長くなりました。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>先ほど発言させていただきましたので、1つだけ。</p> <p>地域に信頼される学校として、地域に開かれた学校としてあるこの西宮中学のために、未来の学校、理想の学校をぜひつくってほしいと思っています。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>私、学校運営協議会委員でもあるのですけれども、震災救援所の責任者もしております。人の命をあずかる準備をしている会ですけれども、その立場として、令和4年のこの検討会の一番初めに実施された年に要望書を、正式な要望書として提出しました。それがいまだに返答ありませんし、どこにあるか知らないですけれども、私がお伝えしたいのは、正式な要望書をどういうルートで提出する必要があるか、もし要望に関しての正式なフォームがあるならば、それもお示しいただきたいと思います。それと一番大事なことは、その期限はいつなのかということもぜひお示しいただきたいと思います。</p> <p>真剣に考えておりますので、メンバーもおりますので、どうぞこの件についてはお示しいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>今日のご苦労さまでした。今までいろいろな内容については検討されてますので、その部分はもうある程度はいいのかなと。これから示される部分的なもの、建て替えの配置計画だとかいろいろな問題が出てきたときに、その各論のところでもまた、さっきの学級数もそうですけれども、今ここで話してもなかなか出ないと思いますので、絵を見て、図面を見て、その部分で各論的にまた事務局が示されたときに皆さんと検討した</p>

	<p>いと思います。ありがとうございます。</p>
委員	<p>ありがとうございました。私は実はコミュニティふらっと成田のほうでもずっと関わっているものですから、他年齢交流をする場所がこの地域に本当に欲しいとずっと懇願していたので、コミふらができるのはとてもありがたいと思う傍ら、西宮中学校に20年以上もコーディネーターとして関わっていて、子どもたちの活動を常日頃見ております。その中ですごく感じるのは、将来、これから80年この建物を使うとなったら、未来の大人を育てる中学生に。今、教育内容もいろいろ変わっておりまして、実際私自身も小学校で勤務しているので、その場所の足りなさ、子どもたちを習熟別に分けるときの部屋もなければ、個別指導をしたいと思う場所もなければというのが現実あったときに、これからますます集団と個別との教育は重視していかなくてはいけないときに、その両方が備えられるような施設は絶対学校に必要だと思っています。</p> <p>ですので、それらも考えた上で、人数が減るのだけれども、その1人ずつに関わるこのスペースの広さの重要性は今すごく痛感しております。生徒数が減ったから場所も小さくていいのではなくて、その子どもたちを育てるためのスペースは場合によっては3倍、4倍必要になってくるのではないかというのを、日々現場と関わりながら感じているところです。</p> <p>かといって、地域とも関わっておりますので、実際、中学生と地域とが関わるためのいい施設はどういう形かなと、既に自分でそれなりに構想しつつあるのですけれども、それらも、中学生の意見をこれから聞くようなワークショップも設けてくださるということでしたので、ぜひ現場の今いる子どもたちの意見も聞いていただきたいと思っております。どうかよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>本日はどうもありがとうございました。私ごとの話から入らせていただきますが、仕事柄、多くの子どもたちと接する機会があるのですけれども、今、子どもたちは、給食でハラル食が保育園で提供されるようになるほど多様化しています。なので、今までいろいろな方が話してこられましたけれども、人数は数字的に減るかもしれませんが、人種、あと国、そういった多国籍になっていくのはこれから先見えてきていると思います。そういうことだけではなく、個別に対応してあげればきちんと勉強ができる子をきちんと育てるためにも、やはり場所というのはすごく必要になってくると思います。</p> <p>うちの娘、高校3年生なのですけれども、男子も女子も昔に比べて、</p>

	<p>子どもたち体格も身長も大きくなってまいりました。タブレットも使っています。そうすると40人学級、私立であったとしてもきゅうきゅうなのです。そんな中勉強していて、前のほうだと画面が見えない、とても見えづらいということをお話しているのです。全てをかなえることは不可能だとは思いますが、子どもたちがちゃんと勉強ができるスペースは本当に確保していただきたいと切に思っております。</p> <p>あと、もう1点。子どもからの意見を聞いていただけるというのは、とてもありがたいことだと思います。それに関しては何の問題もないかと思いますが、子どもの意見を聞いたらちゃんと応えてください。大人が信じられない子どもをつくらないでください。それだけをお願いします。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>私の子どもたちが西宮を卒業してからしばらくたっているのですが、ちょっと的外れなことを言うかもしれないですが、この1年の間に基本設計の方針が決まるということですが、その限られた時間の中で、実際に先生方のご意見を集める手段ということも考えていただければと思います。</p> <p>それと、西宮の改築とは離れるのですが、最初図書館とさざんかステップアップ教室のことも考えていらっしやっただけかと思うのですが、今それは一旦保留になっているのでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>図書館とさざんかステップアップにつきましては、今の場所で改築するという計画になっておりまして、今回中学校とコミふらの話ということで、資料の中では小さくしてしまっているのですが、4ページ目に「宮前図書館及びさざんかステップアップ教室『宮前教室』は現在の用地で改築します」ということで、計画は決定しています。</p>
委員	<p>どちらも子どもたちと地域にとって大切な施設なので、そちらも大切に進めていただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>私どもの会では、七夕コンサートを開催するに当たって、学校の生徒さんたちといろいろ活動しております。また、震災救援所を通して防災運動などにも参加しております。</p> <p>それと、私の地区で一番問題になっているのは、そこの元日通の教習所の跡に老人ホームができて、また大きなマンションが建つと。その問題でいろいろ頭を悩ませています。1つのあれとして、井の頭通りから老人ホームの敷地内に車が出入りできるようになりましたので一安心</p>

	<p>しているところです。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>防災の会としましては、先ほど立入会長もお話になったのですが、西宮中に震災救援所があるのですが、今は空き教室というか、空いているところにいろいろな救援物資を置いているわけです。それが表の倉庫であったり、ちょっと離れたところであったりして、実際ときにはなかなか使うのが大変ということもあると思いますので、先ほど会長のお話にもありましたけれども、その辺を救援所として使えるということも考えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>今日はこの懇談会に参加させていただきまして、ありがとうございます。実は今回やる前にワークショップでも参加していて、いろいろな知識というか、そういうものを取得したのですが、今後中学校とコミュニティふらっとが併設される場合には、まず学校の施設がちゃんとした状態でもってコミュニティふらっとの整備がされるというのが一番いいわけです。</p> <p>今回の懇談会委員になるときに、先ほどの話だとコミュニティふらっとが現在6館できていると思いますけれども、そのうちの4館を見学させていただいたのですね。もちろん成田、本天沼、それから永福、もう1つは阿佐谷ですかね。そこで特に興味を持ったのはラウンジという機能。これは非常に大事だと思って、実際、各コミュニティふらっとを見た段階では、なかなかよく活用されているのではないかと考えているので、普通は、コミュニティふらっとは、どちらかというとミニの区民センターみたいな貸室があったりするわけですが、そういう状態でも使っているわけです。今、我々利用しているゆうゆう館は建築後大分古くなっているんで、使い勝手も悪いし、規模もものすごく小さいのです、一つ一つの部屋が。ですから、そういうので一応全部4館の諸元を確認して、今後コミュニティふらっとの整備についてはいろいろな考えがありますので、ぜひそれを聞いていただいて、この会を進めていただきたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>宮澤です。本日はありがとうございました。</p> <p>私の娘が今この中学校2年生で、久我山小学校から行く子どもたちはもともと学区もぎりぎりですけれども、その上でほとんどが私立か越境かを考えてしまっているようなところなのですね。なので、子どもたちにとっても、母親にとっても、魅力のある学校をつくっ</p>

	<p>ていただけたらと思います。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>ご説明ありがとうございました。私も今小学生の子どもがおりますので、学童や公園に行っているのですが、中学生になったらどこに集まるのだろうということが気になっておりましたので、プラットフォームができるということはとても安心するなと思っております。</p> <p>また、杉並区としてはこういう複合施設は初めてとのことですが、ほかの区やほかの県に、先行事例などはたくさんあるかと思っておりますので、ぜひそちらをお調べいただいて、事例の見学ができずとも共有いただけますと、こちらとしてもとても参考になるかと思っております。もしモデルプランのようなものがございましたら、次にでもご提示いただければと思います。</p> <p>また、中学生のための施設というのを一番に考えていただきたいので、もしその先行事例があるようでしたら、先行事例の中学生たちが新しくなった学校とかリニューアルしたところを実際どう思っているのか、使い勝手がどうなのかみたいなどころまでぜひ踏み込んで、調べていただくといいのかなと思っておりました。よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>本日はありがとうございます。</p> <p>私のほうで、個人的なあれなのですが、久我山三丁目のほうに住んでおりますので、選挙もあちらの久我山会館でいつも行っているため、本日西宮中学校さんに入ること自体が初めてでした。入ってみて、たくさんの皆様で、このように子どもたちがどのように過ごしたらいいのかということをお考えいただきながらお話をしている懇談会に参加できたこと、大変光栄に思います。</p> <p>初めて参加しているので、本日何かということよりは皆様のご意見をお伺いしたという形になりますので、これからまた2回目以降、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>
委員	<p>今回いろいろご説明いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>新校舎での活動もそうですけれども、私の娘は今小学校5年生で、ちょうど西宮中学区ですけれども、ずっと仮設なのだなというところは印象に残りました。そういった子たちに対してどういった影響があるかというところ、小学校に向けても情報配信をしていただけると、いろいろとこちら心準備というところと、もちろん未来を見据えての活動なので、そういったことを子どもにも説明できる機会にもなります。</p> <p>特にこの25ページの計画、あくまでスケジュールですけれども、こ</p>

	<p>ういったところを小学校に向けても連絡いただけると、親としても動きやすいかなと印象として思っております。今後ともよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>今日、久しぶりに参加させていただきました。本校からは多くの子どもたちが西宮中学校でお世話になっています。</p> <p>令和13年度に使用開始ということは、今の1年生の子どもたちが中学に上がる頃、新しい校舎になるのだなということが今日分かりました。2030年に新しい学習指導要領が始まる年でもあるので、また大きな教育の流れの区切りというか、新しい流れということも見据えながらできていくところなのだなと感じました。</p> <p>校舎は一度建てたら本当に長い年月そこを使いながら、学校の教育活動が行われていくので、高井戸第二小学校もほかの学校からは「とても新しく、いい学校だね」と言われて、私たちもそれをうまく生かしながら教育活動をしなればいけないと思っているのですけれども、使っていて一番思うのは、やはり柔軟に使えることがとても大事だなと思っています。</p> <p>教師がどういう教育をするのが一番その施設をうまく活用できるかということもあるので、本当に地域の人たちや人をつなぐ場所でもあり、教育活動をするという場所なので、いろいろな皆さんのというか、私たちの知恵を結集してつくっていくのが大事なことなのだと再認識しました。どうもありがとうございました。</p>
委員	<p>私は、昔、内閣府の企画でドイツに何回か行かせてもらったことがありますが、そのときにドイツの小・中学校をいろいろ見学させていただいたのですね。非常に広くて、お部屋もそうですけれども、ゆったり造ってあるなという印象を持ちました。もちろん日本の小・中学校とドイツの小・中学校はちょっと違うのですが、本当に勉強に特化した施設なのですよね。</p> <p>地域の活動は帰ってからするのです。しかも地域の人たちが、例えば消防団だとか、何かの研究会だとか、全て地域で行っている活動を学校から帰った後にしているので、ドイツの場合は学校と、学びの場と交流の場とが一緒になってないのです。それはそれで、すごいプラスのことだなと思っています。</p> <p>これから日本の子どもたちが世界の中でしっかり大人として、社会人として日本の国を建てていき、また世界の中でも活躍していく人材をつくるには、もちろん私立の学校も大事ですけれども、公立の中学校は非</p>

	<p>常に大事だと思っています。もちろん自分で考えたり、人とのコミュニケーションをしっかりと取るというのは基本ですけれども、特にその上で知識、学力という点でしっかりと学んでいかないと、本当に日本の国は遅れていくだろうと思います。</p> <p>先ほどから皆さん言っていたので、それは本当に建物に関わることだと思うのですが、学校はやっぱり学び舎ですよ。ぜひ学ぶために、静かでしっかりと学ぶことのできる環境をこれからも中学校、このところにつくっていただきたいと思います。</p> <p>私が単独でつくってほしいとずっとこの2年間お願いして、話していた一番のところは、既に中学校が地域の人たちともコミュニケーションを取っている、活動が実際に行われていることもありますし、例えばコミュニティふらっとで何かイベントをしたときに、大きな音がするときに、子どもたちがちょうど定期考査だとかそういうことがあると、とても残念だなと思うのですよね。</p> <p>片方では昼間イベントをして楽しんで、地域の人たちと交流することはあって、それはすごいすてきなことだけれども、片や学びの場が静かにしっかりと学んでいくことができなくなると、これは大きな問題だなと感じるので、これはもう決定したことですから、その辺りもしっかり検証しながら設計に生かしていただきたいと思います。それが一番の願いです。</p>
委員	<p>本日はありがとうございました。前年度の図書館と云々という話のときに、後半2回ぐらいから参加をさせていただいております。お役所が決めたことが1回なくなって、新しく話が始まるのだというのを経験しまして、意外と驚いております。</p> <p>今考えて話し合ったことも、始まるのは3年後だと思いますと、やはり時間の経過がとても貴重だなと思います。子どもたちの教育の場をつくり上げることにスムーズに時間を使って、頭を使って、話し合いができればいいなと思っております。よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>もう12時を過ぎたようなので、簡単に懸念事項といいますか、今後の進め方の案も出てきたので、課題なのですけれども、本来であると設計者を決める前に基本構想とか基本計画というのをつくります。私もかなりそういうものに関わっているのですが、長いものになると基本構想、基本計画を2年ぐらいつくって、短い場合だと1年ぐらいで基本計画までまとめるのですが、それを基にして設計者を、プロポーザルのときにこういう条件で設計案を出してくださいということで出すと。それ</p>

にいろいろな地域の方とか、学校の意見とか、場合によってはその中にいろいろな要求を入れていくということがあります。今回はそこはなくて、設計者を選んで、設計者とも少しその辺の計画面を話し合っで設計に持っていくということだと思のですが、ややスケジュールがタイトになっている感じなので、学校が開校する時期も当然あるので、あまりそこに時間かけられないということかと思いますが、ちょっとそこが気になる部分であります。本来であれば、前回の懇談会ぐらいからいろいろこの前提で議論して、ちょうどそろそろ設計者を選ぼうかというタイミングかなと思いますので、そういう意味では少しタイトなのがやや気になる部分ではあります。

それから、もう1つ。さっきもちょっと指摘したように事業手法というのが、今回コミュニティふらっとと学校を併せるということで、別々のものをただばらばらに併せてもあまり効率的な運用ができないとか、それぞれの負担が増えるということも出てきます。恐らく中学校とコミュニティふらっとを完全に一体化することはできませんけれども、運営上といいますか、管理上はある程度効率的にまとめていくというのが今回の非常に重要なポイントになると思いますので、本来であれば、そこも含めて事業者をどう選定していくかということも考えていかないといけない。

場合によっては運営者というか、維持管理を含めた事業者選定、その中に設計を加えていくというやり方もあるかもしれませんが、スケジュールを見ますと従来型のスケジュールなので、恐らくその想定はされていないと思うのですが、その辺の、後々の施設全体の管理運営を含めて考えていただきたいと思います。

それから3つ目は、先ほどもちょっとご意見が出ましたけれども、コミュニティふらっとの機能はかなり議論が必要なのかなと思います。提案された案ですと、従来の公民館的な空間構成になっておりますが、私自身はかなり昔にこういうコミュニティセンターの在り方のようなことも調査研究して、幾つかいろいろな施設を回りましたが、やはり地域の方にとって居場所になりたい。何となくふらっと行って、そこに集まって、そこにいろいろな多世代の交流も生まれたり、同世代の触れ合いも生まれたりということで、恐らく貸し部屋だけの構成になってますと、どうしてもサークル内での交流は進むのですが、地域全体の交流につながっていかないという部分はかなりあります。

一応ラウンジ的なものもあるのですが、その辺も含めて、特に内容、

コンテンツをどう入れていくかということも非常に重要だと思いますし、今たまたま私が関わっているある自治体では若者の居場所というのがあって、それを新しく作り直す計画で、例えば音楽スタジオがあったり、子どもも若者もふらっと来たくならないいろいろな仕掛けとか、道具とかがありますし、そこに子育て世代とか高齢者も加えて、今新しいセンターをつくろうと思っていますが、中身が非常に重要だと思いますので、そこをどうつくっていくかというのは十分な議論をしていく必要があるかなと。

それから、当然小さい子どもと子育て世代と高齢者と若者といますけれども、使う時間帯は当然違いますので、ある程度共有化はできるのですが、やはり求めているものも違いますので、完全に一緒にはできないと思うのです。ある程度ゾーニングを分ける。例えば2階建ての建物だと、1階は比較的高齢の方がよく使って、2階は少し若者みたいな考えもありますし、そこをどうやってつくっていくかというのもあるかなと思います。

以前、図書館と一緒にするという計画があったときは、図書館2,000平米ぐらい必要なので現敷地では恐らく難しいということで、図書館と一緒にしないということに関しては妥当だったのかなと思います。一方で、図書館は結構気楽に、自由に来られる場所で、コンテンツとしては非常にいいのです。なので、面積的な余裕があれば図書館と学校を併せるのはなかなかいいアイデアだと思ったのですが、この敷地では難しいと。ただ、図書館的な部分、例えば一部の機能、ブラウジングのような雑誌をちょっと読めるとか、何かちょっと気楽に集まれるような要素というものも、図書館的な部分も一部あるということも考えていいのかなと思いました。

あとは先ほども出たように、中学校はかなりこれから変わってきます。今も変わってきていますし、これまでのように教室だけではなくていろいろな個別化、個性化とか、IT化とか、あとは最近インクルーシブ化のような、いろいろな子どもたちが一緒に学ぶ場という視点もありますので、やはり学校の作り方は考えていけないといけない。

神明中の計画を見ますと少人数教室と多目的教室があるのですが、何となく教室に転用できるように、同じようにつくってある感じもするので、積極的にどうやって使っていくのかなとやや疑問に思うのですが、例えば多目的スペースですと、教室2つ分ぐらいはないと、そこでいろいろな多様な教育が展開できないので、教室1個分あってもちょっと使

	<p>にくいと。そういう意味では、その辺の多目的スペースのつくり方とか少人数教室の在り方も含めて、これからの中学校をどうつくるべきかということもちゃんと計画する必要があるかなと。</p> <p>そういう意味では、これからの審議でどこまでそういうことを詰めて、基本方針に入れ込めるかというのがややタイトな感じがするので、そこが少し懸念事項としてはあります。</p> <p>私のほうからは以上です。</p>
進行役	委員、お願いします。
委員	<p>今日は本当にありがとうございました。現場に行けなくて、皆様の熱量を感じながらお話ししたかったと思うところではありますが、私のほうから最後少しコメントさせていただきます。</p> <p>皆様から出ていたところで、1つ目としては子どもたちの学び舎なのか、交流スペースなのかという辺り、これは先ほども言った中学生という発達段階の過程からすると、両方あることが実はとても大事な時期であると考えています。</p> <p>というのは、中学生という時期は、もちろん個人差があるわけですがけれども、例えば知識をしっかりと蓄積するとか、目の前の具体的な役割をしっかりと果たすとか、それから興味を持ったものにしっかりと没頭するとか、そういったところが非常に得意な時期なのですね。そういうところの脳がとても育つ時期ですので、そういう意味でしっかりと学習ができるスペースが欲しいと願われる保護者の方が多いというのはとても理解できますし、子どもたちもそこでしっかりと力が発揮できるのではないかと思います。</p> <p>例えば大人だったら10時間も勉強するとか、1つの部活をずっとやるとかはなかなか難しいところがありますよね。この時期はそういうことが本当にしっかりとできる時期なので、そこをしっかりと鍛える時期でもあります。</p> <p>一方で、小学生高学年から変わってくるところとしては、抽象的な考え方がここからすごく伸びていく時期です。大人に向かって大体30歳ぐらいまでずっと成長していくと言われているのですがけれども、目の前にないこととか、今まで知らなかったこととかと知っていることを結びつけて課題を見つけたり、考えたり、実行していくということは、むしろ中学生段階から育っていくような力と言われていて、芽生えの時期なのです。ですからそのところはまだまだ弱かったり、先ほども言ったようにいろいろな人との関わりとか手立てが必要になる。</p>

このところもとても大事な時期だけれども、今の社会で中学生がこういった機会を得るとするのは、地域の中でつながり得ない子にとってはなかなか難しかったりだとか、ここが先ほどの学習とも関わってきて、深めるとか広げるといったときに、そういう出会いがなかなかなかったり、それを考える材料に出会うとか、時間を得るとか、そういったところが難しい。放課後塾に行って、同じように学習をするというか、知識を鍛えるような学習をしていると、そこも得意ですからとても伸びるのですけれども、抽象的な思考をどんどん鍛えて課題解決に向かってとか、いろいろな人の、大人の姿を見てというところの経験が少なくなりがちだということはよく言われることかなと思います。

この辺の両立をどうやって実現できるかというのは、杉並区の挑戦というのはとてもすばらしい事柄だと思っているので、ここをいかにつくっていけるかというところをぜひ皆さんで考えていけるプロセスにできるといいなと思っていました。

そのときに、今度は具体的な施設の話なので部屋なのですけれども、普通教室だけでなく、学校が今個別の、あるいは多様なニーズに応じて実践している事柄があまりに社会に知られていないこともあるのではないかと思います。そういったこととか、例えば不登校の関係でいえばよく先生が「校内に居場所をつくりましょうね」とか、「地域にも居場所をつくりましょうね」とか、いろいろ言われているのですけれども、この地域ではどういうふうにそこに組み込んでいくのかとか、あと学習でも総合ですとか、特活ですとか、あるいは領域のキャリアとか環境、福祉辺りの取組、学習が地域と協働してやっていく部分だと思うのです。

「学校」と一言と言っても非常に多機能ですので、その中のどこが地域ともう少し一緒にやっていくのかとか、コミュニティふらっとで提案されている部屋との関係性は特別教室も含めて関係はどうかとか、個別に見ていくと少し具体的な連携だったり、生まれてくるものが想定できる部分もあるのかなと思いました。

ただ、それをやる時間がないというのは、先ほどスケジュールが非常にタイトだということだったので、その辺も含めて、できれば皆さん合意できて基本設計に入れるといいなと私も思いましたが、今後プロポーザルと並行しながらこれをどう実現するかというプランを、ぜひ事務局のほうにはお願いしたいところであります。

あと3点目、最後は、このプロセスをメモリアルにしていくことは結

	<p>構大事かなと思っていて、この基本設計というのはみんなが体感するという意味では、例えばワークショップをやる、子どもが出す意見をしっかりとというのは改築に反映される部分も一部あると思いますけれども、その運用、機能面で発揮される意見もたくさんあるだろうと思います。</p> <p>そうすると、それは改築に完全に反映されていなくても、使っていく中で反映していけるところもあるのだけれども、その際、みんなでどういう思いでつくったのかというのがちゃんと残っているということがとても大事だと思っていて、ワークショップでやった内容は全部反映されてなくても、どんな意見が出たのかというのが、メモリアル的にこの施設にもしっかり残っていくことがちりばめられているようにしていくといいかなと思います。80年後というお話でいうと。今いる子どもたちが、自分が出した意見がここに残って、そして大人になったときにも生きていくというのもすごく大事なことだと思います。</p> <p>特にプラットフォーム化したときに学校であるのと学校区とかの違いは、やっぱり帰ってこられる場所だということかなと思っていて、学校というのはふらっと入れるところではないですので、大人になって立ち返ってくるというか、そのときの学びの理念みたいな、生涯学んでいくというスタートに立っている子どもたちがそこに立ち返ってくる。そこでまたいろいろな交流が生まれてくるというのがどんどん続いていくことが感じられるプラットフォームになっていくために、このメモリアルはとても大事かなと思っております。決定していくプロセスと残していくものを並行しながら、タイトなスケジュールの中うまく組み込めるといいかなと思っております。</p> <p>ちょっと抽象的な話になりましたが、以上になります。</p>
進行役	<p>委員の皆様からは様々なご意見を頂くことができました。ありがとうございました。十分ご発言できなかった部分につきましては、席上に配布のご感想シートにご記入の上、事務局へご提出ください。後日、事務局から皆様に共有できるようにしたいと思います。</p> <p>それでは、事務局から事務連絡をお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>事務連絡をさせていただきます。</p> <p>1点目は、本日の会議録についてです。約1か月後を目途に皆様に議事録(案)をお送りいたしますので、ご確認いただきまして、修正の必要がありましたらご連絡を頂ければと思います。懇談会の資料等、議事録については、杉並区教育委員会ホームページに掲載してまいりますのでよろしくをお願いします。</p>

	<p>2点目です。ご感想シート・アンケートについてですが、本日十分にご発言できなかった部分がありましたらご記入をお願いします。記載が終わったアンケート用紙は、お帰りの際、出口で職員にお渡しくださいますようお願いいたします。</p> <p>3点目です。2回目の懇談会開催につきましては、日時等が決まり次第開催通知をお送りしお知らせします。</p>
進行役	最後に、閉会に当たり学校整備・支援担当部長よりご挨拶があります。
学校整備・支援 担当部長	<p>定刻を過ぎまして、長時間どうもありがとうございました。</p> <p>最後に、本当にこれはタイトに進めなければならないということですが、しっかりと皆さんのご意見をお聞きして、懇談会の中で反映させて、しっかりした学校づくりを目指していきたいと思っております。今日頂いた意見も含めて、これからも忌憚ないご意見を頂ければと思いますので、どうぞよろしくようお願いいたします。本日は長時間にわたりどうもありがとうございました。</p>
進行役	それでは、本日はこれで閉会といたします。ありがとうございました。